

宮城県で確認された高病原性鳥インフルエンザ疑似患畜の遺伝子解析の結果及びNA亜型の確定について

本県で確認した高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜について、遺伝子解析の結果及び NA亜型が確定しましたので、以下のとおりお知らせします。

1 概要

(1) 宮城県角田市の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内23例目、令和8年3月26日疑似患畜確定）について、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門^(注)（以下、動衛検）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

これを受け、農林水産省は、当該家きんを「高病原性鳥インフルエンザの患畜」と判定しました。

(2) 当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動衛研における検査の結果、NA亜型が判明し、「H5N1亜型」であることが確認されました。

(注) 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究部門は、国内唯一の動物衛生に関する研究機関

2 その他

(1) 我が国の現状において、家きん肉や家きん卵等を食べることにより、ヒトが鳥インフルエンザウイルスに感染する可能性はないと考えております。

(2) 今後とも、本病に関する情報提供に努めて行きますので、生産者等の関係者や消費者が根拠のない噂などにより混乱することがないように、御協力をお願いします。